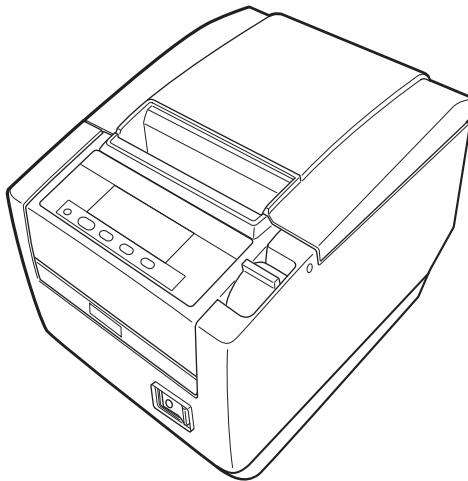


CITIZEN

サーマルプリンター

MODEL CT-S801

取扱説明書



シチズン・システムズ株式会社

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご 注 意

- ご使用前に必ず本書をお読みください。読み終わった後は、大切に保管し、必要ときに読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植などに関わらず、当社の一切の責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外の別売品や消耗品を使用した場合の結果として発生したトラブルにつきまして、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理は行わないでください。
- お客様の誤った操作取り扱い、使用環境に起因する損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- データなどは基本的に長期的、永久的な記憶、保存はできません。故障、修理、検査などに起因するデータの消失の損害、および損失利益などについては、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の内容について記載漏れや誤り、不明点などがございましたらお買い求めの販売店へご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

CITIZENは、シチズン時計株式会社の登録商標です。
本文中の会社名、商品名は各社商標、または登録商標です。
Copyright © シチズン・システムズ株式会社 2018年

安全上のご注意…必ずお守りください！

本製品をご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みにになり正しくお使いください。正しく取り扱わないと思わぬ事故（火災、感電、けが）を起こします。お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を防ぐために、必ずお守りください。

- お読みにになった後は、お使いになる方が、必ずいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 本章は、ご使用になる製品により一部説明が該当しない項目もあります。

表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害及び損害の度合いを、次のように表示し説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。



注意

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示します。



このマークは、気をつけていただきたい「注意喚起」の絵表示です。



このマークは、感電、静電気を気をつけていただきたい「注意喚起」の絵表示です。



このマークは、電源プラグを抜いていただきたい「情報」の絵表示です。



このマークは、AC 電源コードのアース線の接続箇所を示す絵表示です。



このマークは、やり方などの「情報」を示す絵表示です。



このマークは、してはいけない「禁止」を示す絵表示です。

プリンター設置上のご注意

⚠ 警告

■本製品を下記で設置、保管、使用はしないでください。

- * 火気や水気のある場所
 - * 直射日光のあたる場所
 - * 暖房器具や熱器具などの近く
 - * 空気中に塩分やガスを含んでいるような場所
 - * 通気性の悪い場所
 - * 実験室など化学反応を起こすような場所
 - * 油、鉄粉、ごみ、ほこり等の多い場所
 - * 静電気、強い磁界がおきやすい場所
- ・ 本製品が破損もしくは故障、加熱、発煙、発火する恐れがあります。
火災、感電の原因になることがありますので絶対に行わないでください。



■本製品に下記の異物や液体などを落とさないでください。また、本製品の上に下記の物質をおかないでください。

- クリップ・虫ピン・ネジ等の金属類を落とさないでください。
 - 花瓶、コップ等の水などが入った容器類を上には置かないでください。
 - 本製品にコーヒー、ジュースなどの液体類をこぼさないでください。
 - 殺虫剤などの薬剤などを吹きかけたりしないでください。
- ・ 異物が本製品の内部に入ると故障、火災、感電の危険があります。
万一、異物が内部に入った場合、必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店へご連絡ください。



■本製品を下記のような操作は行わないでください。

- 本製品を踏んだり、落としたり、叩くなど強い力や衝撃を与えないでください。
 - 本製品を分解、または改造。
- ・ 本製品が破損もしくは故障、加熱、発煙、発火する恐れがあります。
火災、感電の原因になることがありますので絶対に行わないでください。



■小さなお子様 hands が届かないところで、設置、保管、使用をしてください。

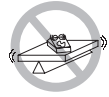
- ・ 電気製品は誤って取り扱おうと思わぬけがや事故を起こして危険です。
- ・ 電源コードやケーブル類、本体内部のギヤや電気部品にお子様触れないように注意してください。
- ・ 本製品が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。かぶると窒息の恐れがあります。



注意

本製品を下記の状態で使用しないでください。

- 振動があったり、不安定な状態
- 本製品を傾けた状態
 - ・ 落下等だけが原因になることがあります。
 - ・ 印字品質が悪くなる場合があります。
- 本製品の換気口を壁や物で塞いだ状態
- 本製品の上に物を載せた状態
- 本製品を布や布団で覆ったり、包んだ状態
 - ・ 熱がこもり、ケースの変形や火災の原因になることがあります。
- 本製品をラジオやテレビ受信機の近くでの使用や同じコンセントの電源使用。
- 本製品をノイズなどに弱いケーブルやコードで接続した状態。
(シールド線、ツイストペア線、フェライトコアなどノイズ対策をしているケーブルを使用してください。)
- ノイズの多い機器と接続しての使用。
 - ・ 受信障害の原因やノイズによるデータ化け等の誤動作の原因になることがあります。
- 本製品を指定以外の向きに設置した状態。
 - ・ 誤動作、故障、感電の原因になることがあります。



■ アースを接続してください。

- ・ 万一、漏電した場合感電の原因になることがあります。



■ 本製品のアース線を下記の場所に絶対つながないでください。

- * ガス管
 - ・ 爆発の危険があります。
- * 電話線のアース
- * 避雷針
 - ・ 落雷のとき大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。
- * 水道管
 - ・ プラスチックになっている場合があり、アースの役目を果たしません。(ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管は接続できます。)



■ 本製品のアース線をつないだり外したりする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



プリンターお取り扱い上のご注意

警告

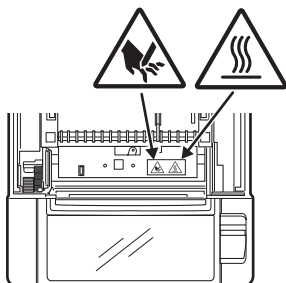
電源コード、電源プラグの取り扱いについては下記の点をお守りください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 指定された電圧、周波数以外で使用しないでください。
- 指定された AC アダプター以外を使用しないでください。
- 同梱された電源コードを必ず使用し、またその電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 接続するコンセントの容量が十分に余裕のあることを確認してから使用してください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、電源コードのたこ足配線はしないでください。
- 電源プラグにほこり、異物等の付着したままコンセントに差し込まないでください。
- 変形したり、傷んだ電源コードを使用しないでください。
- 本製品を通電状態で移動させないでください。
- ・故障、発煙、火災、感電の原因になることがあります。
- ・容量オーバーにより供給線の発熱発火や電源が遮断される恐れがあります。
- 上に物を置いたり、足で踏んだりして荷重がかかる状態で使用しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりした状態で使用しないでください。（また、この状態での本製品の持ち運びもしないでください。）
- 電源コードをむやみに加工しないでください。
- 暖房器具や熱器具などの近くに配線しないでください。
- ・電源コードが、断線、被覆が溶けたりして芯線の露出等で漏電、感電、故障の原因になることがあります。電源コードが傷んだらお買い求めの販売店へご連絡ください。
- 電源プラグのまわりには物を置かないでください。
- 本体の近くにコンセントがあり、いつでも電源プラグが抜ける状態で使用してください。
- ・万一、非常時に電源を遮断できなくなります。
- 電源プラグはコンセントに正しく、電極の根元まで差し込んでください。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コード、各ケーブルの抜き差しは相手側も含め必ず電源を切った後プラグ、コネクターを持って行ってください。



注意

下図の位置に注意ラベルが貼ってありますので、取扱上の注意をよく読んで正しく使用してください。



このラベルは、ヘッド部が「高温になる」為接触するとやけどをする恐れがあることや、ペーパーカバーを開けた際にマニュアルカッターやオートカッターに触れると手を切る恐れがあることへの注意喚起を表しています。

■本製品にロールペーパーをセットしたまま輸送しないでください。

・プリンターの故障や破損の原因になることがあります。

本製品の故障原因を未然に防ぐため下記の状態で使用しないでください。

■印字中は、ペーパーカバーを開けないでください。

■記録紙をセットしない状態

■指定用紙以外は使用しないでください。

・印字品質の劣化の原因になることがあります。

■用紙どうしをセロハンテープ等でつなぎ合わせての接続使用はしないでください。

■セットされた用紙を無理に手で引っ張ったりする事は絶対に行わないでください。

■オペレーションパネル部の操作は、ペン先などの鋭利な物では絶対に行わないでください。



■コネクターケーブルの接続は確実に行ってください。

・万一極性が逆に接続されると内部の素子が破壊されたり、相手側の機器に悪影響を及ぼすことがあります。

ドロワーキックコネクターに専用のドロワー以外の機器を接続しないでください。

・故障の原因になることがあります。



けが及び拡大被害を防ぐために下記の注意事項は必ずお守りください。

- ペーパーカバーを開けた際に、用紙排出口にあるマニュアルカッターに触れないでください。
- プリントヘッドの印字部にはさわらないでください。
- 印字中、本体内部のカッター及びギヤなどの可動部、電気部品などに手を触れないでください。
- 故障の時は、本製品の分解等を行わず、お買い求めの販売店へご連絡ください。
- カバー等の開閉時に手や指等を挟まないようにしてください。
- 板金のエッジ部等で、身体や他の物を傷つけないように注意してください。
- ・感電、やけど等のけがの原因になることがあります。



万一、使用中に発煙、異臭、異音等の異常が発生したら直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

① 日常のお手入れ

本製品のメンテナンスなどを行う場合、下記の注意を必ずお守りください。

- お手入れは必ず本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体ケース表面の汚れ、ほこりは、乾いた柔らかな布で拭き取ってください。
汚れがひどい場合は、水に濡らし固く絞ったふきんで拭き取ってください。
アルコール類、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系等の有機溶剤や化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- 紙粉で汚れた場合は、柔らかいブラシ、ハケ等を使用して掃除してください。



注意

- ・ヘッドは高温になっています。印字直後の作業はやめてください。

サポート情報と最新のドキュメント、ドライバー、ユーティリティー等の入手先
<http://www.citizen-systems.co.jp/support/index.html>

目次

1. はじめに	9
1.1 特長	9
1.2 同梱品	10
1.3 機種分類	10
1.4 仕様一覧	11
2. プリンター各部の説明	12
2.1 プリンター外観	12
2.2 ペーパーカバー内部	15
2.3 その他内蔵機能	17
3. 準備	18
3.1 AC 電源コードの接続	18
3.2 インターフェースケーブルの接続	19
3.3 ドロワーの接続	20
3.4 外部デバイスの接続	22
3.5 プリンターの設置上のご注意	23
3.6 ロール紙用パーティション	25
3.7 シリアルインターフェースボード上の DIP スイッチ設定	26
3.8 ペーパーニアエンドセンサーの設定	27
3.9 用紙のセット	28
3.10 用紙センサーの調整	29
3.11 用紙種の選択	32
3.12 電源スイッチカバーの取り付け	33
3.13 インターフェースカバーの取り付け	34
3.14 インターフェースカバーの取り外し	34
4. メンテナンスとトラブル	35
4.1 定期クリーニング	35
4.2 カッターエラーの解除 (1)	36
4.3 カッターエラーの解除 (2)	37
4.4 機能テストモード	38
4.5 キーロック機能	40
4.6 16 進ダンプ印刷	41
4.7 メッセージ表示	42
5. その他	44
5.1 外形および寸法	44
5.2 印字用紙	45
5.3 メモリスイッチのマニュアル設定	48

1. はじめに

本製品は、各種データ通信端末、POS 端末、キッチンプリンター等の用途用に開発されたラインサーマルプリンターです。

豊富な機能が盛り込まれていますので、各種の用途に広くご利用いただけます。

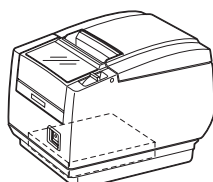
1.1 特長

- 最大300 mm/secの高速印字が可能(ラベル仕様の場合は、最大150 mm/sec)
- 設置場所を選ばないコンパクトなデザイン(用紙径最大サイズ 83 mm)
- 用紙幅が3インチタイプ(83、80 mm)、または2インチタイプ(60、58 mm)の2機種から選択可能
- 電源内蔵、または AC アダプタータイプが選択可能
- 液晶画面、LED、ブザーによるプリンターの状態とエラー種類の表示
- 液晶画面と 4 つのキーを使った簡単な設定変更
- 高速、静粛なカッターを搭載
- 簡単なカッタージャム解除
- インターフェース差し替え方式
- ドローワーキックインターフェース内蔵
- 外部デバイス用シリアルインターフェースポート内蔵
- メモリスイッチによる各種のカスタマイズが可能
- ユーザーメモリにユーザー作成文字、ロゴを登録可能
- バーコード、2 次元バーコード対応
- 2 色印字対応(指定用紙使用時)
- ドライバーソフトとユーティリティソフトを同梱
- 出荷時のオプション選択によりラベル紙やブラックマーク紙が使用可能(ラベル仕様)

1.2 同梱品

下記のものが同梱されていることを確認してください。

- プリンター本体： 1 台
●インターフェースカバー： 1 個
●AC 電源コード： 1 本
●電源スイッチカバー： 1 個
●サンプルロール紙： 1 ロール
- CD-ROM： 1 枚
●クイックスタートガイド： 1 部
●AC アダプター※： 1 個
- 注）※：GT-S801A のみ



CT-S801S
(電源内蔵タイプ)
36AD3を使用



AC 電源コード



電源スイッチ
カバー



サンプル
ロール紙



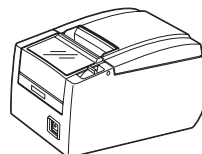
CD-ROM



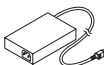
クイックスタート ガイド



インターフェースカバー



CT-S801A
(AC アダプタータイプ)



AC アダプター
(36AD2)



AC 電源
コード



サンプル
ロール紙



クイック
スタートガイド



電源スイッチ
カバー



CD-ROM



インターフェースカバー

1.3 機種分類

本製品の型番は下記の呼称方法により分類されています。

CT - S801S 3 RS J - BK - P L M1

電源 _____
S: 電源内蔵タイプ
A: AC アダプタータイプ

用紙幅 _____
3: 3 インチ (80 / 83 mm)
2: 2 インチ (58 / 60 mm)

インターフェース _____

PA:	パラレル
RS:	シリアル RS-232C
UB:	USB のみ
UH:	ハブ付 USB
ET:	イーサネット(標準タ
ES:	イーサネット(多機能
UP:	Powered USB

仕向地※1
J: 日本
U: 北米
A: アジア

BM センサー
: なし
M1: 左側
M2: 右側※ 2

— PNE センサー
： なし
P: PNF センサー

本体ケース色
WH: クールホワイト
BK: 黒

注) ※ 1: 仕向地により、AC 電源コード、シリアル I/F ネジ、ファームウェア等が異なります。

※2: 3 インチタイプのみ

1.4 仕様一覧

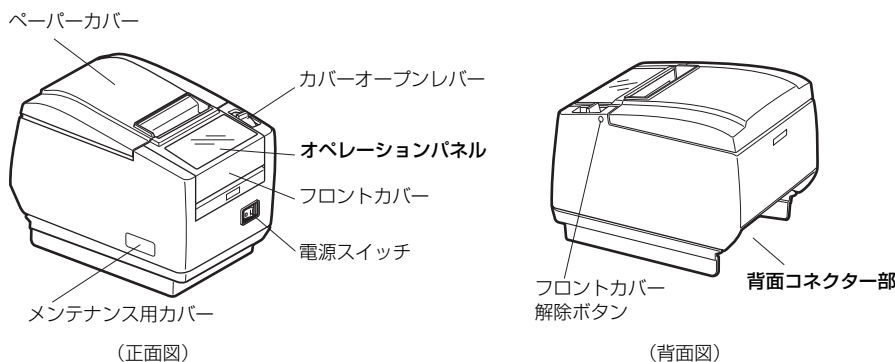
項 目	仕 様					
モデル名	CT-S801					
印字方式	ラインサーマルドット印字方式					
印字幅 ※ 1	80 mm/640 ドット、72 mm/576 ドット、64 mm/512 ドット、54.5 mm/436 ドット、54 mm/432 ドット、52.5 mm/420 ドット、48 mm/384 ドット、45 mm/360 ドット、48.75 mm/390 ドット、68.25 mm/546 ドット					
ドット密度	8 × 8 ドット /mm (203 dpi)					
印字速度	300 mm / 秒 (最速、印字濃度レベル 100%、2400 ドットライン / 秒) 150 mm / 秒 (1200 ドットライン / 秒) (ラベル仕様の場合)					
印字桁数 ※ 2	—	最大印字桁数 (桁)				ドット構成 (ドット)
	用紙幅	83 mm	80 mm	60 mm	58 mm	
	フォント					
	フォント A	53	48	36	35	12 × 24
	フォント B	71	64	48	46	9 × 17
	フォント C	80	72	54	52	8 × 16
	漢字フォント A	26	24	18	17	24 × 24
	漢字フォント C	40	36	27	26	16 × 16
文字寸法 ※ 3	フォント A : 1.50 × 3.00 mm フォント B : 1.13 × 2.13 mm フォント C : 1.00 × 2.00 mm		漢字フォント A : 3.00 × 3.00 mm 漢字フォント C : 2.00 × 2.00 mm			
文字種類	英 数字、国 際 文 字、PC437/850/852/857/858/860/863/864/865/ 866/WPC1252/ カタカナ /Thai code 18 漢 字 (JIS 第 1、第 2)、カナ、JIS C 6226-1983					
液晶画面 (LCD)	128 × 32 ドット STN 液晶、白赤 LED バックライト					
ユーザーメモリ	384 KB (ユーザー作成文字、作成ロゴを登録可能)					
バーコード種類	UPC-A/E、JAN (EAN) 13 桁 /8 桁、ITF、CODE39、CODE128、 CODABAR (NW-7)、CODE93、PDF417、QR Code					
行間隔	4.23 mm (1/6 inch) (コマンドにより変更可能)					
用紙	ロール紙 : 83 ⁺⁰ ₋₁ mm/80 ⁺⁰ ₋₁ mm/60 ⁺⁰ ₋₁ mm/58 ⁺⁰ ₋₁ mm × 最大 φ83 mm 用紙厚 : 65 -75 μm (紙管内径 12 mm / 外径 18 mm) 75 -85 μm (紙管内径 25.4 mm / 外径 32 mm) 85 -150 μm (紙管内径 25.4 mm / 外径 32 mm : ラベル仕様のみ対応)					
インターフェース	シリアル (RS-232C 準拠)、パラレル (IEEE1284 準拠)、USB、ハブ付 USB、 イーサネット、Powered USB					
ドロワーキックアウト	2 ドロワー対応					
外部デバイスポート	RJ-45、8 ピンコネクター					
インプットバッファ	4 k バイト /45 バイト					
電源電圧	DC 24 V ± 5%					
消費電力	約 45 W (通常印字時)、約 3 W (待機時)					
AC アダプター ※ 4 (36AD2、36AD3)	定格入力 : AC 100 V ~ 240 V、50/60 Hz、150 VA 定格出力 : DC 24 V、2.1 A					
質量	CT-S801S : 約 2 kg、CT-S801A : 約 1.6 kg					
外形寸法	CT-S801S : 145 (W) × 192 (D) × 148 (H) mm CT-S801A : 145 (W) × 192 (D) × 120 (H) mm					
動作温度、湿度	5 ~ 45 ℃、10 ~ 90% RH (結露なきこと)					
保存温度、湿度	- 20 ~ 60 ℃、10 ~ 90% RH (結露なきこと)					
信頼性	印字ヘッド寿命 : 150 km、2 億バルス (常温、常湿、指定推奨紙、指定用紙厚) オートカッター寿命 : 200 万カット (常温、常湿、指定推奨紙、指定用紙厚)					
適合規格 ※ 5	VCCI クラス A					

- 注) ※ 1: 紙幅が各 83、80、60、58 mm の場合。
※ 2: 印字桁数はメモリスイッチにより切り替えが可能です。
本表の桁数は代表モデルです。仕様により一部桁数が異なります。
※ 3: 各文字寸法は文字フォント内部のスペースを含むため、実際の文字は小さく見えます。
※ 4: 36AD2 は、CT-S801A に付属品として同梱されている AC アダプターです。
36AD3 は、CT-S801S の本体に内蔵されている AC アダプターです。
※ 5: 弊社製 AC アダプター (36AD2 / 36AD3) を使用した場合の適合規格です。

2. プリンター各部の説明

2.1 プリンター外観

各部の名称



●ペーパーカバー

用紙をセットするときに開閉します。

(ラベル仕様のプリンターには、ペーパーカバー上にラベルガイドが付いています。)

●カバーオープンレバー

ペーパーカバーを開けるためのレバーです。

●フロントカバー

カッターエラーの解除操作をするときに開閉します。



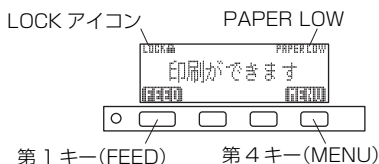
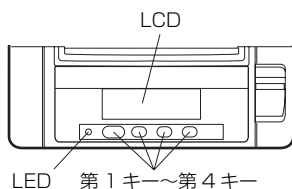
4.3 カッターエラーの解除(2)参照

- フロントカバー解除ボタン
フロントカバーを開けるためのボタンです。
- 電源スイッチ
電源の ON / OFF を切り替えます。
- メンテナンス用カバー
使用しません。剥がさないでください。

注意

メンテナンス用カバーは開けないでください。

オペレーションパネル



右上の LCD の図は表示例です。

- LCD
プリンター状態、キーの機能、エラーの種類、メッセージを表示します。
- LED
電源を ON にすると緑色に点灯し、OFF にすると消灯します。
データ受信時に緑色に点滅します。
特殊なモードやエラー時には、赤色に点灯します。
用紙残量少状態(ペーパーニアエンド)時と、印字ヘッドホット時には、オレンジ色に点灯します。
- 第1キー～第4キー
実行するモードによって機能が割り振られます。本書内の説明では、LEDの隣を第1キーとし、順に第2キー、第3キー、第4キーと呼びます。

●FEED キー

キーを押している間、用紙が送られます。

カッターエラー時、原因の除去後にペーパーカバーを閉じた状態で FEED キーを押すとエラーを解除します。



4.7 メッセージ表示参照

●MENU キー

長押し(2 秒以上)することで、メモリスイッチ設定モードに入ります。



5.3 メモリスイッチのマニュアル設定参照

●PAPER LOW

ペーパーニアエンドになると、表示されます。

●LOCK アイコン

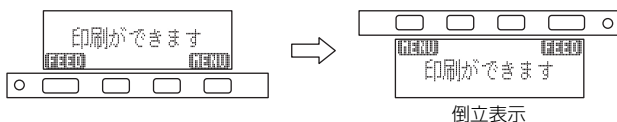
このアイコンの表示中は MENU キーが無効となります。



4.5 キーロック機能参照

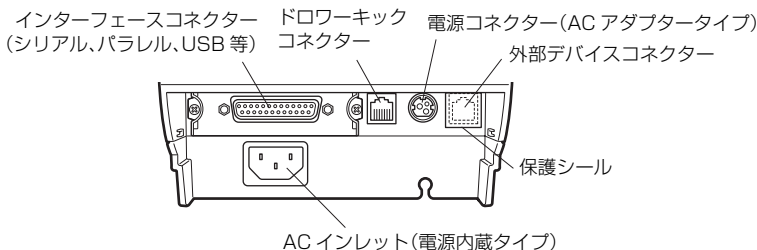
縦置き、壁掛け時の LCD 表示

縦置き、壁掛けの場合は、メモリスイッチを変更して LCD を倒立表示にすることができます。



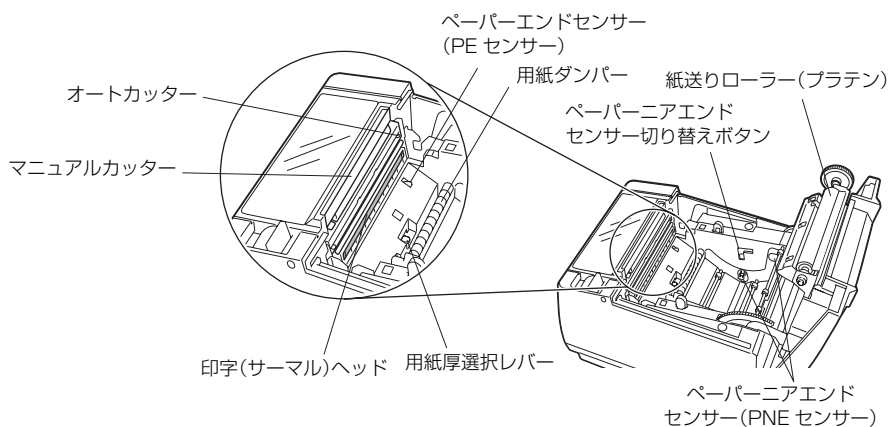
5.3 メモリスイッチのマニュアル設定参照

背面コネクター部



- インターフェースコネクタ(シリアル、パラレル、USB 等)
インターフェースケーブルを接続します。
シリアルインターフェースボード上には、DIP スイッチがあります。
- ドローキックコネクタ
ドローからのケーブルを接続します。
- 電源コネクタ(AC アダプタータイプ)
AC アダプターからのケーブルを接続します。
- 外部デバイスコネクタ
外部デバイス装置からのケーブルを接続します。
※外部デバイスコネクタの保護シールをはがして使用してください。
- AC インレット(電源内蔵タイプ)
AC 電源コードを接続します。

2.2 ペーパーカバー内部



- 紙送りローラー(プラテン)
用紙を送るローラーです。
紙送りローラーは、メンテナンス以外の目的で取り外さないでください。
- ペーパーニアエンドセンサー(PNE センサー)
用紙残量少状態(ペーパーニアエンド)を検出します。検出させたい残量によってセンサー位置を変更してください。

- ペーパーニアエンドセンサー切り替えボタン
使用する用紙にあわせてペーパーニアエンドセンサーの位置を変更します。



3.8 ペーパーニアエンドセンサーの設定参照

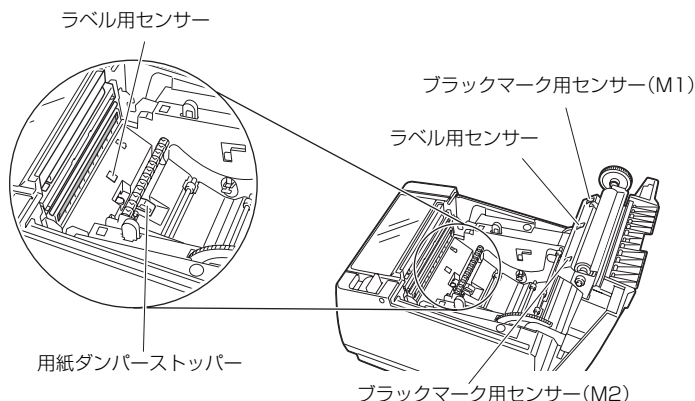
- マニュアルカッター
印字終了時に手で用紙をカットするためのカッターです。
- オートカッター
印字終了時に自動で用紙をカットするためのカッターです。



5.3 メモリスイッチのマニュアル設定参照

- 印字(サーマル)ヘッド
用紙(ロール紙)に文字やグラフィックデータを印字します。
- ペーパーエンドセンサー(PE センサー)
紙なし状態を検出します。センサーが紙なしを検出すると印字を停止します。
- 用紙厚選択レバー
用紙の厚さにあわせて普通紙用と厚紙用を選択するレバーです。
- 用紙ダンパー
用紙送りを補助します。

下図はラベル仕様およびブラックマーク仕様のみに使用されている部品です。



- 用紙ダンパーストッパー
用紙ダンパーを固定するときに使用します。
- ブラックマーク用センサー
ブラックマーク紙のブラックマークを検出します。
機種分類により、センサー位置は M1 または M2 になります。



1.3 機種分類参照

- ラベル用センサー
ラベル紙長を測ります。

2.3 その他内蔵機能

- ブザー
エラー時、操作時、またはコマンド操作時に鳴ります。



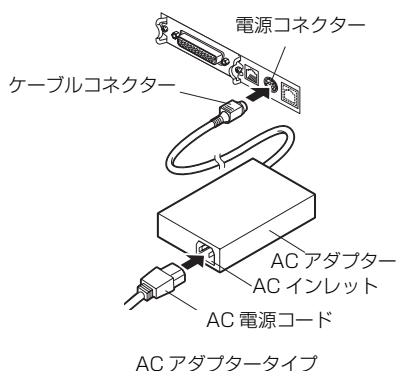
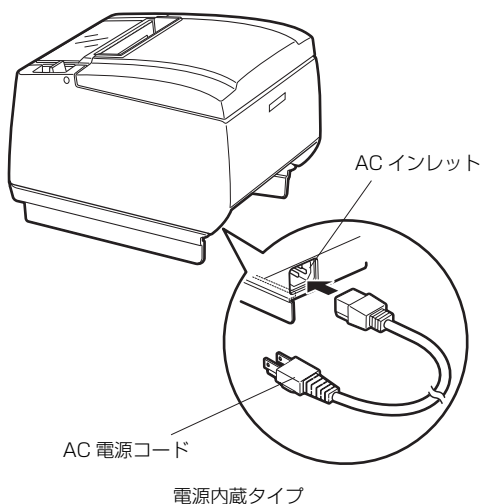
4.7 メッセージ表示参照

- ユーザーメモリ
ユーザー作成のロゴデータや文字データをメモリ上に保存することができます。
保存されたデータは、電源を OFF にした後も残ります。保存方法については、別冊のコマンドリファレンスを参照してください。
- メモリスイッチ
各種機能の設定をメモリ上に保存することができます。保存された設定は、電源を OFF にした後も残ります。

3. 準備

3.1 AC 電源コードの接続

1. 電源を OFF にします。
2. ●電源内蔵タイプの場合は、AC インレットに AC 電源コードを接続し、プラグをコンセントに接続します。
●ACアダプタータイプの場合は、ACアダプターのケーブルコネクタを電源コネクタに接続します。その後、AC インレットに AC 電源コードを接続し、プラグをコンセントに接続します。

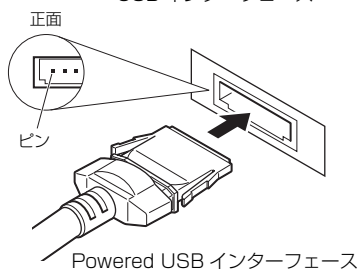
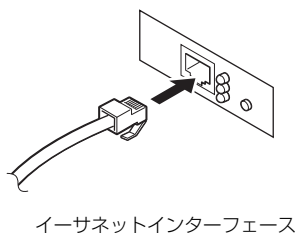
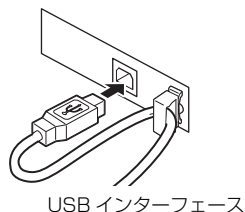
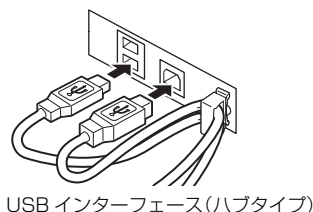
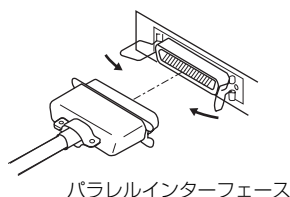
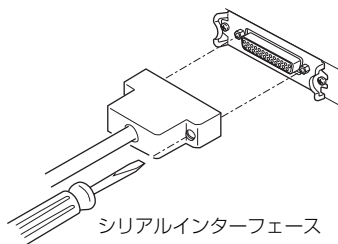


⚠ 注意

- AC アダプターは、定格仕様以外のものは使用しないでください。
- AC アダプターのケーブルコネクタの着脱は、必ずコネクタ部を持って行ってください。
- AC 電源は、他のノイズを発生する装置とは別の電源から電力を供給してください。
- AC 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電、断線の原因になることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、AC 電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。落雷によって、火災・感電の原因になることがあります。
- AC 電源コードを熱器具に近付けないでください。AC 電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因になることがあります。
- 長時間使用しないときは、安全のため必ずAC 電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- AC 電源コードは、足等に引っかからないように設置してください。

3.2 インターフェースケーブルの接続

1. 電源を OFF にします。
2. インターフェースケーブルの上下を確認してコネクタに接続します。



⚠ 注意

- Powered USB インターフェースを本体に接続する前に、必ず本体から AC アダプターのケーブルコネクタを外してください。ホスト PC の故障原因になることがあります。Powered USB インターフェースの取り付けについては、お買い求めの販売店へご依頼ください。
- Powered USB ケーブルを接続するときは、コネクタの向きを確認してください。中のピンを曲げないようにまっすぐ差し込み、カチッと音がするまで押し込んでください。
- ケーブルを抜くときは必ずコネクタ部を持って行ってください。
- USB インターフェースケーブルを誤ってドローキックコネクタに接続しないよう注意してください。
- 1 台の PC に USB インターフェースで本製品を 2 台以上接続する場合は、USB のシリアル番号を変更する必要があります。
- イーサネットインターフェースケーブルを接続または取り外すときは、コネクタを前後方向にまっすぐ抜き差ししてください。斜めになるとコネクタ接触不良の原因になることがあります。

シリアルインターフェースケーブルは、下記の結線になっているものを使用してください。

25 ピン – 25 ピンケーブル

PC 側		プリンター側	
信号	ピン	ピン	信号
FG	1	1	FG
TXD	2	2	TXD
RXD	3	3	RXD
CTS	5	4	RTS
DSR	6	6	DSR
SG	7	7	SG
DTR	20	20	DTR

9 ピン – 25 ピンケーブル

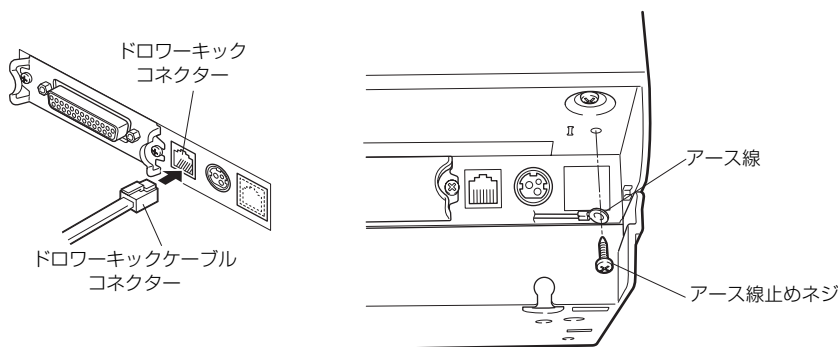
PC 側		プリンター側	
信号	ピン	ピン	信号
RXD	2	2	TXD
TXD	3	3	RXD
DTR	4	4	RTS
SG	5	6	DSR
DSR	6	7	SG
CTS	8	20	DTR

⚠ 注意

インターフェースケーブルは、足等に引っかからないように設置してください。

3.3 ドロワーの接続

1. 電源を OFF にします。
2. ドロワーキックケーブルコネクタの上下を確認して、プリンター背面のドロワーキックコネクタに接続します。
3. アース線止めネジを外します。
4. ドロワーのアース線をプリンターの本体にネジ止めします。

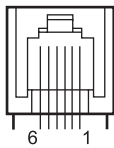


⚠ 注意

- ドロワーキックコネクタには専用のドロワーキックケーブルコネクタのみ接続してください。（電話回線を接続しないでください。）
- 印字中は、ドロワーキックコネクタから信号を出力できません。

(1) コネクター接続図

No.	信号名	機 能
1	FG	保全用接地（ケースグラウンド）
2	DRAWER1	ドロワー 1 駆動用信号
3	DRSW	ドロワースイッチ入力
4	VDR	ドロワー駆動用電源
5	DRAWER2	ドロワー 2 駆動用信号
6	GND	信号用 GND(回路上の共通グラウンド)



使用コネクター：
TM5RJ3-66（ヒロセ）ま
たは相当品
適合コネクター：
TM3P-66P（ヒロセ）また
は相当品

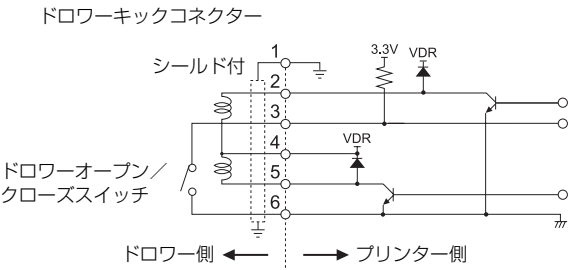
(2) 電気的特性

- 1) 駆動電圧： DC 24 V
- 2) 駆動電流： 最大約 1 A(510 ms 以内のこと)
- 3) DRSW 信号： 信号レベル“L”= 0 ～ 0.8 V、“H”= 2 ～ 3.3 V

(3) DRSW 信号

信号の状態は、DLE + EOT、GS + a、GS + r コマンドおよびパラレルインターフェースの 34 ピンで確認できます。

(4) 駆動回路

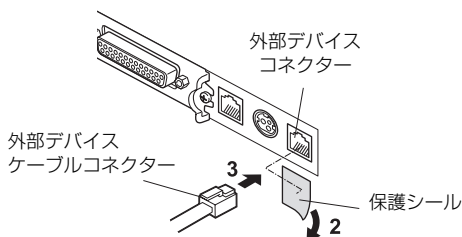


! 注意

- ドロワー 1 とドロワー 2 は同時に駆動できません。
- ドロワー用のソレノイドは24 Ω以上のものを使用してください。出力電流は 1 Aを越えないようにしてください。故障、焼損の危険があります。

3.4 外部デバイスの接続

1. 電源を OFF にします。
2. 外部デバイスコネクターの保護シールをはがします。
3. 外部デバイスケーブルコネクターの上下を確認して、プリンター背面の外部デバイスコネクターに接続します。

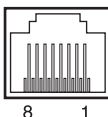


⚠ 注意

外部デバイスコネクターには専用の外部デバイスケーブルのみ接続してください（電話回線、LAN ケーブル、USB ケーブルを接続しないでください）。

(1) コネクター接続図

No.	信号名	入出力	機能
1	FG	—	保全会接地（ケースグラウンド）
2	RXD	入力	外部デバイスからの受信データ
3	TXD	出力	プリンターへの送信データ
4	DTR	出力	外部デバイスが受信できるかを示します。 MARK：外部デバイスが受信不可 SPACE：外部デバイスが受信可能
5	DSR	入力	プリンターがデータを受信できるかを示します。 MARK：プリンターが受信不可 SPACE：プリンターが受信可能
6	SG	—	信号用 GND（回路上の共通グラウンド）
7	PS	—	電源供給端子（24 V DC）
8	PG	—	電源用帰線



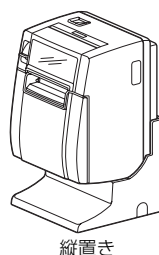
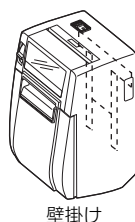
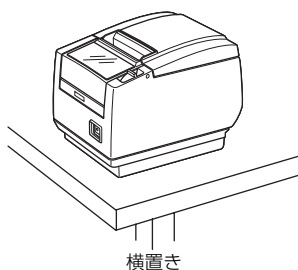
使用コネクター：RJ-45
適合コネクター：RJ-45

外部デバイス使用時の通信条件は、“19200bps、8 ビット、パリティなし”です。

3.5 プリンターの設置上のご注意

本製品は横置き、縦置き、壁掛けでの使用ができます。ただし、CT-S801S(電源内蔵タイプ)は、縦置き、壁掛けでの使用はできません。

縦置きで使用する場合は、オプションのスタンドを、壁掛けで使用する場合は、オプションの金具を使用します。詳しくはオプションのマニュアルを参照してください。



縦置き、壁掛けの場合は、メモリスイッチを変更して LCD を倒立表示にすることができます。



5.3 メモリスイッチのマニュアル設定参照



2.1 プリンター外観(縦置き、壁掛け時の LCD 表示)参照

縦置き、壁掛けの場合は、ペーパーニアエンドセンサーの設定を変更してください。(工場出荷時のペーパーニアエンドセンサーは横置き時の位置に設定してあります。)



3.8 ペーパーニアエンドセンサーの設定参照



注意

本製品を下記の状態で使用しないでください。

- 振動があったり、不安定な状態
- ほこりや塵の多い場所
- 本製品を傾けた状態
 - ・落下等だけが原因になることがあります。
 - ・印字品質が悪くなる場合があります。
- 本製品を指定以外の向きに設置した状態
 - ・誤動作、故障、感電の原因になることがあります。

横置き設置上の注意

- フルカット設定をしないでください。カッタージャムの原因となります。

縦置き / 壁掛け設置上の注意

- ペーパーニアエンドセンサーを調整してください。

縦置き設置上の注意

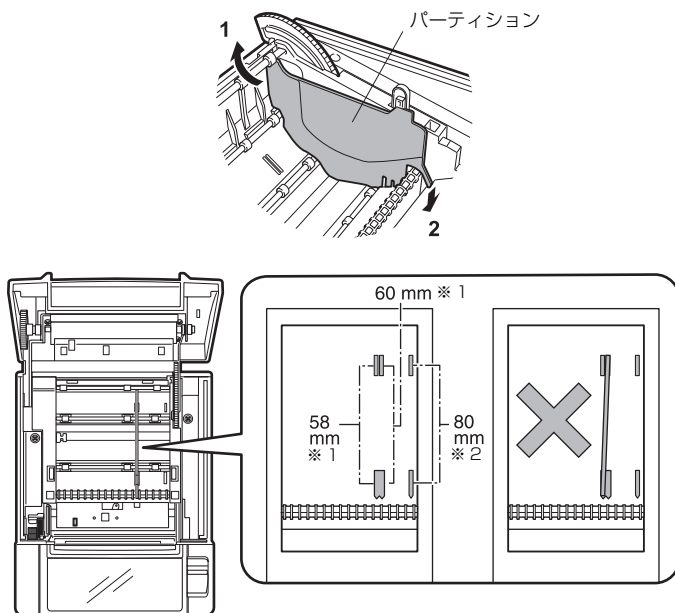
- オプションのスタンドでパーシャルカットした厚紙を引っ張るとスタンドごと倒れることがあります。
厚紙は使用しないでください。

3.6 ロール紙用パーティション

使用するロール紙の幅にあわせてパーティションをセットします。
工場出荷時、本パーティションは以下の位置にセットされています。

- 3 インチタイプの場合: 80 mm 幅ロール紙用
- 2 インチタイプの場合: 58 mm 幅ロール紙、60 mm 幅ロール紙用
(2 枚のパーティションがセットされています)

1. 電源を OFF にします。
2. カバーオープンレバーを手前に倒し、ペーパーカバーを開けます。
3. 使用するロール紙の幅にあわせ、パーティションを溝に取り付けます。ただし、83 mm 幅のロール紙を使用する場合は、パーティションを取り外してください。
また 2 インチタイプで 60 mm 幅のロール紙を使用する場合は、58 mm にセットされたパーティションを外してください。
4. 「5.3 メモリスイッチのマニュアル設定」を参照し、用紙幅設定を変更します。



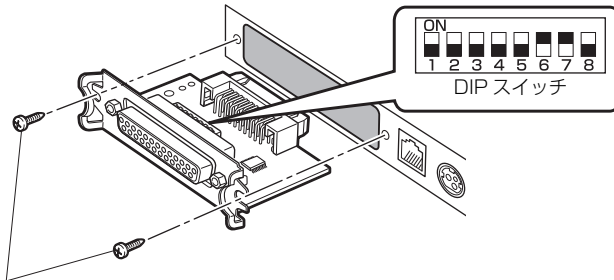
注) ※ 1:2 インチ(58 / 60 mm)タイプ
※ 2:3 インチ(80 / 83 mm)タイプ

⚠ 注意

パーティションを 58 mm 用または 60 mm 用の溝に取り付ける場合は、パーティションが斜めにならないように注意してください。

3.7 シリアルインターフェースボード上のDIPスイッチ設定

1. 本体の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. シリアルインターフェースボード取り付けネジを外します。
3. シリアルインターフェースボードを本体から取り出します。
4. 下記の表を参照し、DIP スイッチを設定します。



シリアルインターフェースボード取り付けネジ

⚠ 注意

DIP スイッチの設定時には“シリアルインターフェースボード取り付けネジ”以外は取り外さないでください。

各スイッチの機能は、下記のとおりです。(網掛け表示部は、工場出荷時設定です。ただし、仕向地により出荷時設定が異なる場合があります。)

スイッチ No.	機 能	ON	OFF
1	通信条件設定選択	DIP スイッチの設定に従う	メモリスイッチの設定に従う
2	ハンドシェイク	XON / XOFF	DTR / DSR
3	ビット長	7 ビット	8 ビット
4	パリティチェック	あり	なし
5	パリティ選択	偶数	奇数
6	ボーレートの選択	下記別表	
7			
8	INIT	リセットする	無効

ボーレートの選択

ボーレート (bps)	スイッチ No.	
	6	7
2400	OFF	OFF
4800	ON	OFF
9600	OFF	ON
19200	ON	ON

スイッチ No.1 を OFF に設定した場合、1200、38400、57600、115200 bps もコマンドまたはメモリスイッチにより選択が可能です。

3.8 ペーパーニアエンドセンサーの設定

ペーパーニアエンドセンサーの設定を変更して、検出するニアエンドの位置を設定します。

1. ペーパーニアエンドセンサー切り替えボタンをボールペンの先等で軽く押し込みます。
2. ペーパーニアエンドセンサー切り替えボタンをそのまま押しながら上下左右方向に移動します。センサー位置は、使用するロール紙径により、下記のようになります。

用紙厚が 75 μ m 以下の場合

(単位 : mm)

センサー位置	ニアエンド検出時のロール紙外径	使用するロール紙の巻芯外径 / 内径
A、a	約 ϕ 31	ϕ 18/ ϕ 12
B※、b	約 ϕ 23	ϕ 18/ ϕ 12
C	ペーパーニアエンドセンサー機能が無効	

用紙厚が 75 μ m 以上の場合

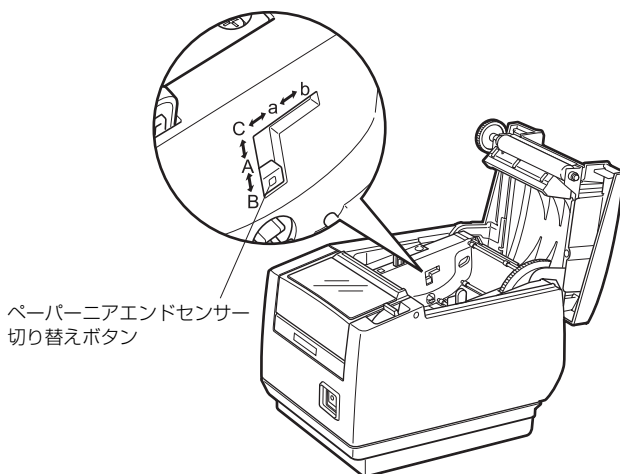
(単位 : mm)

センサー位置	ニアエンド検出時のロール紙外径	使用するロール紙の巻芯外径 / 内径
A、a	約 ϕ 41	ϕ 32/ ϕ 25.4
B※、b	約 ϕ 34	ϕ 32/ ϕ 25.4
C	ペーパーニアエンドセンサー機能が無効	

注) ※ : 工場出荷時のセンサー位置です。ただし、仕向地により出荷時設定が異なる場合があります。

⚠ 注意

検出されるロール紙の外径寸法は目安です。ロール紙により違いが出ます。



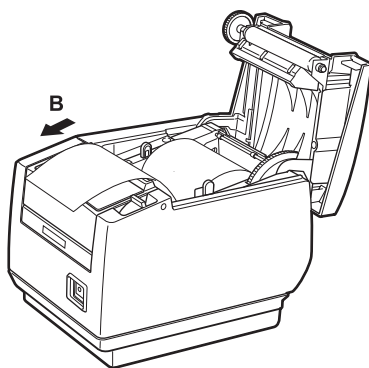
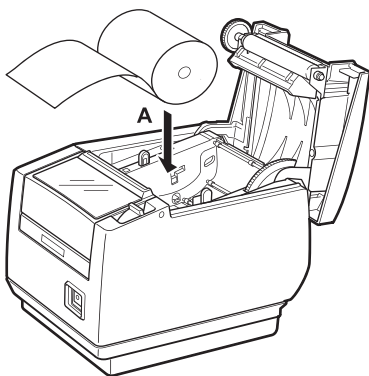
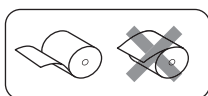
(A / B 方向は横置き、a / b 方向は縦置きまたは壁掛け時の位置を示します。)

3.9 用紙のセット

1. 電源を ON にします。
2. カバーオープンレバーを手前に倒し、ペーパーカバーを開けます。
3. ラベル紙や厚紙を使用する場合は、用紙ダンパーを固定します。
4. 矢印 A のように印字面が下になるようにロール紙を入れます。
5. 矢印 B のように用紙を数 cm 外にまっすぐ引き出します。
6. ペーパーカバーをカチッと音がするまでしっかり閉めます。自動的に用紙が送られ、カットされます。(工場出荷時設定の場合)



5.3 メモリスイッチのマニュアル設定参照



注意

- 必ず指定の用紙を使用してください。
- 用紙が正しく入っていることを確認してください。
- 用紙がどちらかの方向に傾いていてペーパーカバーからまっすぐ出ていない場合、ペーパーカバーを開けてまっすぐに直してください。
- 用紙セット後にカバーオープンした場合は、必ず用紙を数cmプリンターの外にまっすぐ引き出してからペーパーカバーを閉じてください。
- ペーパーカバーを閉める場合は、中央部を押さえて確実に閉じてください。
- 用紙をセットする際は、用紙のエッジで手を切らないように注意してください。
- ペーパーカバーを開けた際に印字ヘッドやマニュアルカッター / オートカッターに触れないように注意してください。やけどをしたり、手を切る恐れがあります。

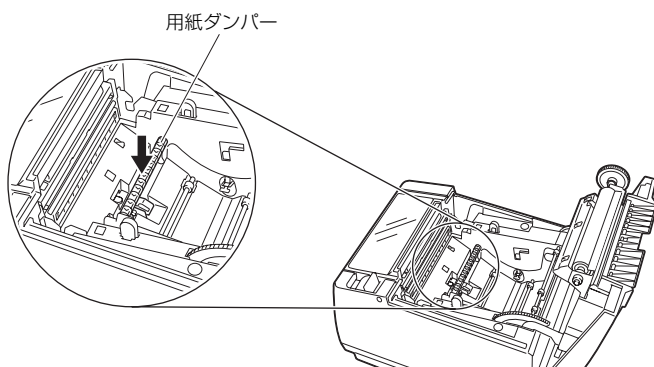
3.10 用紙センサーの調整

ラベル紙、またはブラックマーク紙を使用する前に、実際に使用する用紙で用紙センサーの調整をしてください。

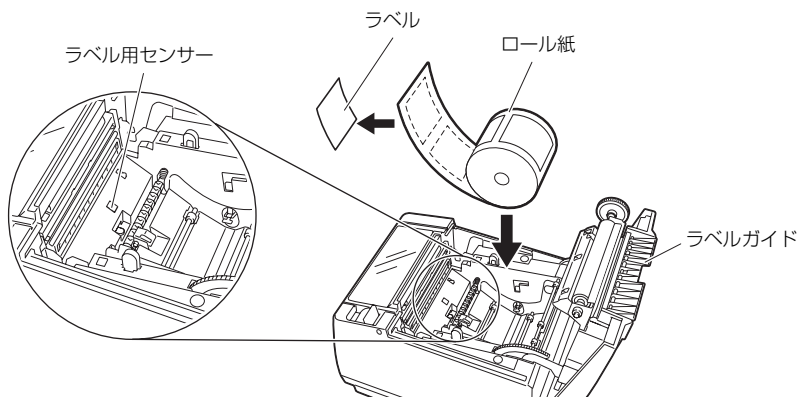
下記の操作により、プリンターが自動的にセットされた用紙を送り、最適なセンサー感度を設定します。また、用紙種が自動的に選択されます。

ラベル紙の場合

1. 電源を OFF にします。
2. カバーオープンレバーを手前に倒し、ペーパーカバーを開けます。
3. 用紙ダンパーを矢印方向へ押し、カチッと音がするまで押し込みます。



4. ラベル紙の 1 枚目のラベルをはがします。
ラベル長が短い場合は、はがした部分が 5 cm 以上になるよう数枚はがしてください。
5. 印字面が下になるようにロール紙を入れます。
6. ラベルをはがした部分が、ラベル用センサーの上に位置するように用紙位置を調整します。



7. ペーパーカバーを閉めます。
8. 第 1 キーを押しながら電源を ON にします。
機能テストモードが起動し、LCD に「テスト印字」と表示されます。



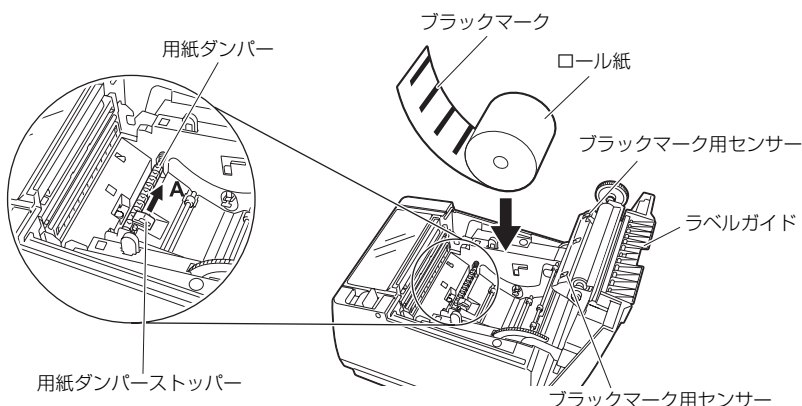
9. 第 3 キー(▼)を 5 回押します。
LCD に「ラベルセンサー調整」と表示されます。



10. 第 4 キー(■)を押します。
用紙センサーの調整が開始されます。
11. 用紙センサーの調整に成功した場合は、LCD に「印刷ができます」と表示されます。
用紙センサーの調整に失敗した場合は、LCD にエラーメッセージが表示されます。

ブラックマーク紙の場合

1. 電源を OFF にします。
2. カバーオープンレバーを手前に倒し、ペーパーカバーを開けます。
3. 用紙ダンパーストッパーを矢印 A 方向にスライドして、用紙ダンパーの固定を解除します。
ブラックマーク付きのラベル紙を使用する場合は、用紙ダンパーを固定してください。
4. 印字面が下になるようにロール紙を入れます。
5. 用紙ダンパーの上に用紙があることを確認します。
6. ブラックマーク部分が、ブラックマーク用センサーの下に位置しないように用紙位置を調整します。



7. ペーパーカバーを閉めます。

8. 第 1 キーを押しながら電源を ON にします。
機能テストモードが起動し、LCD に「テスト印字」と表示されます。



9. 第 3 キー(▼)を 4 回押します。
LCD に「BM センサー調整」と表示されます。



10. 第 4 キー(■)を押します。
用紙センサーの調整が開始されます。
11. 用紙センサーの調整に成功した場合は、LCD に「印刷ができます」と表示されます。
用紙センサーの調整に失敗した場合は、LCD にエラーメッセージが表示されます。



4.7 メッセージ表示参照



3.11 用紙種を選択参照



注意

- 用紙排出部（ラベルガイド）にフルカットされた用紙を 10 枚以上ためないでください。
10 枚以上ためると、用紙詰まりの原因となります。
- 使用するラベル紙、ブラックマーク紙の種類を変更した場合は、再度用紙センサーの調整をしてください。

3.11 用紙種を選択

使用する用紙を変更する場合は、機能テストモードの「用紙タイプ選択」で用紙種を選択してください。

1. 用紙をセットします。

2. 第 1 キーを押しながら電源を ON にします。

機能テストモードが起動し、LCD に「テスト印字」と表示されます。



3. 第 3 キー(▼)を 3 回押します。

LCD に「用紙タイプ選択」と表示されます。



4. 第 4 キー(■)を押します。

LCD に「感熱ロール紙」と表示されます。



5. 第 3 キー(▼)を押すごとに、LCD に「感熱ロール紙」→「ブラックマーク」→「ラベル」→「感熱ロール紙」と表示されます。

使用する用紙種が表示されるまで、第 3 キー(▼)を押します。

6. 第 4 キー(■)を押します。

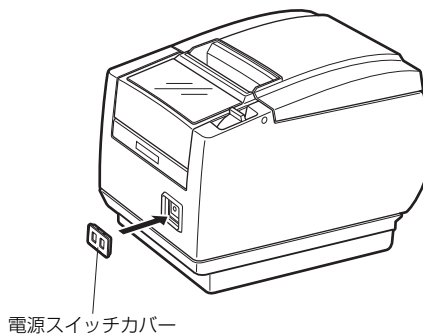


3.9 用紙のセット参照

3.12 電源スイッチカバーの取り付け

電源スイッチを頻繁に操作させたくない場合に取り付けます。

1. 電源スイッチカバーを電源スイッチ部にカチッと音がするまではめ込みます。



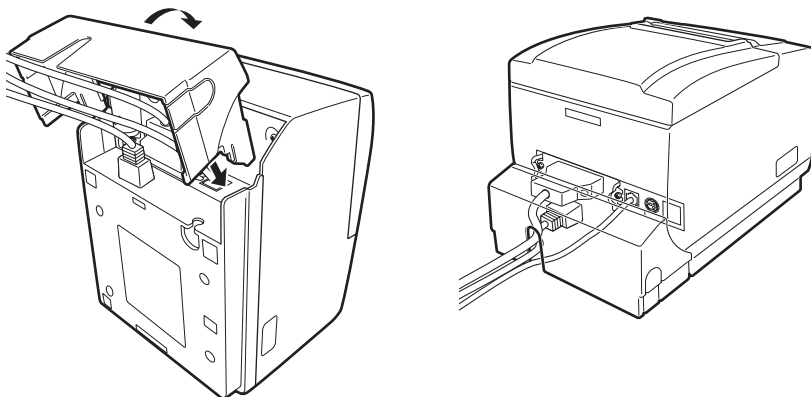
電源スイッチカバー

電源スイッチカバーを取り外す場合は、マイナスドライバー等の先端をカバーの溝に入れてひねります。

3.13 インターフェースカバーの取り付け

プリンター本体の背面にインターフェースカバーを取り付けます。
電源タイプの違いにより、インターフェースカバーの形状が異なります。

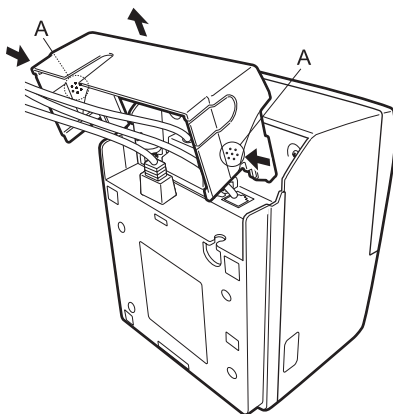
1. インターフェースカバーを図のようにカチッと音がするまで押し込みます。



CT-S801S の場合

3.14 インターフェースカバーの取り外し

インターフェースカバーを取り外すときは、インターフェースカバー両側面の A 部を内側に押しながら取り外します。



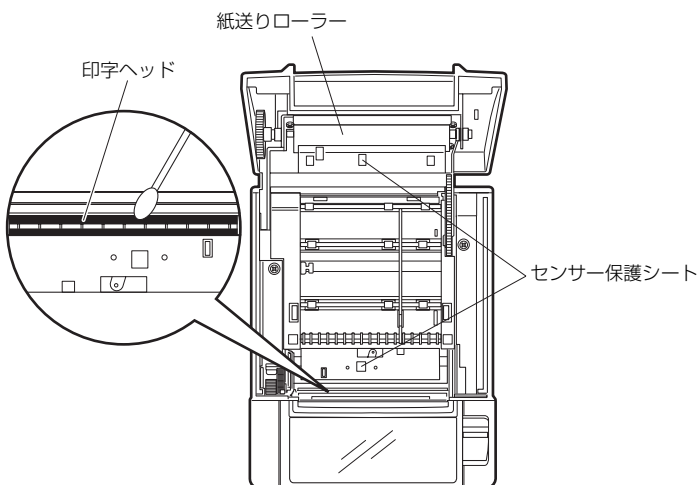
CT-S801S の場合

4. メンテナンスとトラブル

4.1 定期クリーニング

印字ヘッドや紙送りローラーが汚れていると、きれいに印刷できなくなったり、故障の原因となります。また、センサー保護シート上に紙粉等が付着していると正しく用紙検出ができなくなります。下記の手順で定期的(約 2 ～ 3 ヵ月)にクリーニングすることをお勧めします。

1. 電源を OFF にします。
2. カバーオープンレバーを手前に倒し、ペーパーカバーを開けます。
3. 印字ヘッドの温度が下がるまで数分待ちます。
4. エチルアルコールを含ませた綿棒で印字ヘッドや紙送りローラー表面に付着したゴミなどの汚れを拭き取ります。
5. 少量の水を含ませた綿棒でセンサー保護シート表面の汚れを拭き取ります。
拭き取る前に綿棒に水滴が残っていないか確認してください。



⚠ 注意

- 印字直後は印字ヘッドが高温になっています。手で触れないように注意してください。
- 印字ヘッドに素手や金属等で触れないでください。
- センサー保護シート表面の汚れを拭き取るときは、アルコール等の溶剤は使用しないでください。センサー保護シートに曇りが生じる場合があります。
- 特にラベル紙をフルカットした場合、台紙の性質、ロール紙径、プリンターの使用環境条件等により紙片が紙送りローラーに付着しやすくなります。

4.2 カッターエラーの解除（1）

異物の落下や用紙詰まりなどにより、オートカッター動作時にオートカッターの刃が出たままで停止すると「カッターエラー」と表示されます。



「カッターエラー」と表示された場合、以下の方法でカッターエラーを解除します。

1. 電源を ON にします。
2. カバーオープンレバーを手前に倒し、ペーパーカバーを開けます。
3. 詰まった用紙を残らず取り除きます。（セットしてあるロール紙もホルダー部から取り出してください。）
4. 再度ロール紙をセットし、ペーパーカバーを閉めます。

注意

- 印字直後は印字ヘッドが高温になっています。手で触れないように注意してください。
- 印字ヘッドに素手や金属等で触れないでください。

「カッターエラーの解除（1）」の操作後にペーパーカバーを開いたとき、オートカッターの刃が出たままの場合は、「カッターエラーの解除（2）」の操作を行ってください。

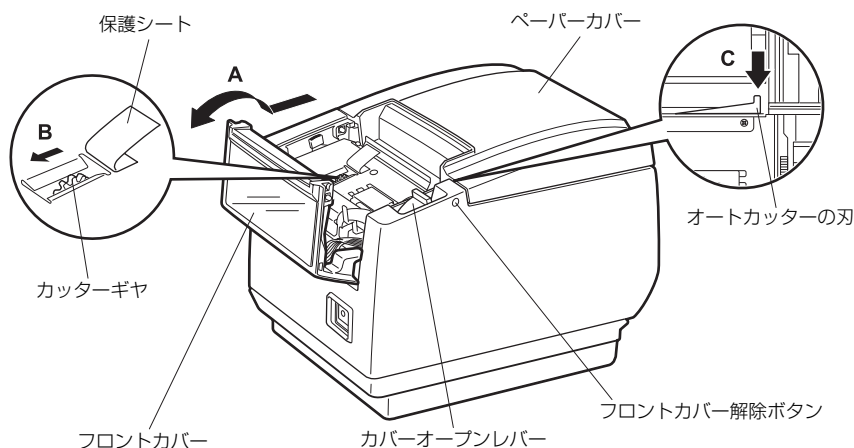


4.3 カッターエラーの解除（2）参照

4.3 カッターエラーの解除 (2)

カッターエラー時にカバーオープンレバーを手前に倒すと、ペーパーカバーが開く機構になっています。この操作でペーパーカバーが開かない場合は、下記の手順でカッターエラーを解除します。

1. 電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. フロントカバー解除ボタンをボールペンの先等で押しながら、フロントカバーを矢印 A の方向に開きます。
フロントカバーを矢印 A のように約 3 ～ 4 mm スライドさせ、手前へ回転させます。
3. 保護シートの下にあるカッターギヤを矢印 B の方向に回し、ペーパーカバーを開けることができる位置までオートカッターを戻します。
オートカッターの刃が矢印 C の方向に引っ込むまでカッターギヤを回します。カッターギヤを矢印 B の方向に回してもオートカッターの刃が動かない場合は、逆方向にカッターギヤを回します。
4. カバーオープンレバーを手前に倒し、ペーパーカバーを開けます。
5. カッターエラーの原因を取り除きます。
6. フロントカバーを閉めます。
矢印 A の反対方向へフロントカバーを回転させ、カチッと音がするまでスライドさせます。
7. 用紙をセットし、ペーパーカバーを閉めます。
8. 電源プラグをコンセントへ差し込み、電源を ON にします。
LED が緑色に点灯することを確認します。



注意

- 必ず電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
- フロントカバーを開ける際、マニュアルカッターに触れないように注意してください。
- ペーパーカバーを開ける際、オートカッターの刃の出入口に触れないように注意してください。
- 印刷直後は印字ヘッドが高温になっています。手で触れないように注意してください。
- 印字ヘッドに素手や金属等で触れないでください。
- 上記の方法を行ってもオートカッターが元に戻らない場合はお買い求めの販売店へご連絡ください。

4.4 機能テストモード

第 1 キーを押しながら電源を ON にすると機能テストモードが起動します。
 第 3 キー(▼)で機能を選択し、第 4 キー(■)で機能を実行します。
 テスト印字またはメモリスイッチの設定内容を印字する以外の機能は、サービスマン専用の機能です。操作を行わないでください。

テスト印字

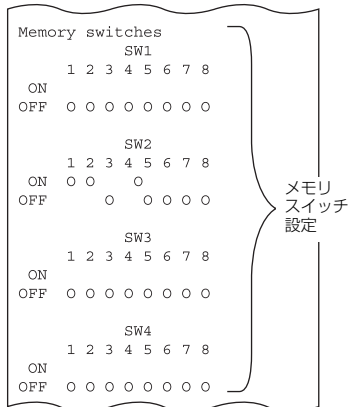
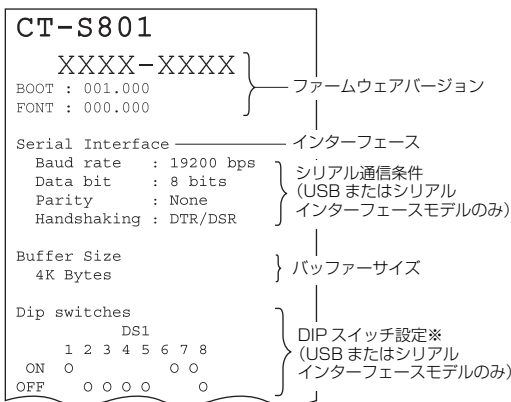
1. 用紙をセットした状態で第 1 キーを押しながら電源を ON にします。

機能テストモードが起動し、LCD に「テスト印字」と表示されます。



2. 第 4 キー(■)を押します。

テスト印字が開始されます。モデル名、バージョン、DIP スイッチ設定、メモリスイッチ設定、搭載フォントを印字します。



注) ※ : USB インターフェースモデルに DIP スイッチはありませんが、テスト印字では DIP スイッチ設定がすべて OFF の状態で印字されます。

メモリスイッチの設定内容を印字する

1. 用紙をセットした状態で第 1 キーを押しながら電源を ON にします。
機能テストモードが起動し、LCD に「テスト印字」と表示されます。
2. 第 3 キー(▼)を押します。
LCD に「メモリスイッチ印字」と表示されます。
3. 第 4 キー(■)を押します。



現在設定されているメモリスイッチ設定の一覧表の印字が開始されます。

機能テストモードのサブモードには下記のものがあります。

機 能	説 明
テスト印字	テスト印字を行う
メモリスイッチ印字	メモリスイッチ設定の印字を行う
クイックセッティング※ 1	メモリスイッチの特定モデルへの互換設定を行う
用紙タイプ選択※ 2	用紙種の選択を行う
BM センサー調整※ 2	ブラックマーク用センサーの調整を行う
ラベルセンサー調整※ 2	ラベル用センサーの調整を行う

注) ※ 1 : クイックセッティングにて置き換え対象プリンターのメーカー、モデル等を選択することにより、最適なメモリスイッチが自動的に設定されます。

※ 2 : ラベル仕様とブラックマーク仕様

選択項目

メーカー	モデル	用紙幅	文字間スペース
CITIZEN	CBM1000	58 mm	—
		80 mm	—
	CT-S300	58 mm	—
		80 mm	—
	CT-S2000	58 mm	—
		60 mm	—
		80 mm	—
		83 mm	—
EPSON	T88	58 mm	0dot
			1dot
		80 mm	0dot
			1dot
	203dpi	58 mm	—
		60 mm	—
		80 mm	—



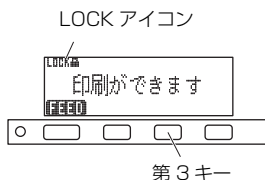
自動設定されるメモリスイッチ

MSW2-4 フル桁印字	MSW3-7 CBM1000 互換モード	MSW8-1 印字領域幅	MSW6-2 文字間 スペース
自動改行	有効	432dots	—
自動改行	有効	576dots	—
データ待ち	無効	384dots	—
データ待ち	無効	576dots	—
自動改行	有効	432dots	—
自動改行	有効	436dots	—
自動改行	有効	576dots	—
自動改行	有効	640dots	—
データ待ち	無効	360dots	0dot
データ待ち	無効	390dots	1dot
データ待ち	無効	512dots	0dot
データ待ち	無効	546dots	1dot
データ待ち	無効	420dots	—
データ待ち	無効	436dots	—
データ待ち	無効	576dots	—

4.5 キーロック機能

プリンターを使用中に MENU キーを長押しすると、メモリスイッチ設定が変更可能になります。

不用意に変更されないように、キーロック機能を有効にしてください。



キーロックのセット

キーロックをセットするには、第3キーを長押し(3秒以上)してください。

MENU が消え、LOCK アイコンが表示されます。

この状態では、MENU キーを長押ししてもメモリスイッチ設定モードには入れません。

キーロックの解除

キーロックを解除するには、第3キーを長押し(3秒以上)してください。

LOCK アイコンが消え、MENU が表示されます。

4.6 16 進ダンプ印刷

受信したデータを 16 進数で印字します。データが欠落する、データが重複するなどの問題があったときに、プリンターがデータを正しく受信しているのかどうか、確認できます。

16 進ダンプ印刷の操作方法

1. 用紙をセットします。
2. ペーパーカバーを開けた状態で、第 1 キーを押しながら電源を ON にし、ペーパーカバーを閉めます。
HEX ダンプ印刷モードに入ります。
3. 「HEX ダンプ印字モード」と印字された後、受信したデータを 16 進数と文字で印字されます。

16 進ダンプ印刷の停止方法

下記のいずれかで印刷を停止することができます。

- 第 1 キー (FEED) を 3 回連続で押す
- 電源を OFF にする
- インターフェースからのリセットコマンドを受信する

注意

- データに該当する文字がない場合は、“.” を印字します。
- 16 進ダンプ印刷中は、すべてのコマンドが機能しません。
- 印字データが 1 行に満たない場合、第 1 キー (FEED) を押すことにより、その行の出力を行います。

印字例

HEX ダンプ印字モード

```
61 62 63 64 65 66 67 0A 0D 0D 0D 0D abcdefg.....  
0D 0D 0D .....
```

4.7 メッセージ表示

●ペーパーエンド

用紙なしは、ペーパーニアエンドとペーパーエンドの2段階で検出します。

ペーパーニアエンドの場合は、LCD に「PAPER LOW」を表示し、LED がオレンジ色に点灯します。用紙交換の準備をしてください。

ペーパーエンドの場合は、LCD にペーパーエンドのメッセージを表示し、LED が赤色に点灯します。新しい用紙をセットしてください。

●ペーパーカバーオープン

印字中は、絶対にペーパーカバーを開けないでください。開けてしまった場合、LED / LCD が赤色に点灯します。用紙を確認して、必ず数 cm プリンターの外にまっすぐ引き出してからペーパーカバーを閉めてください。印字が再開されます。メモリスイッチの設定によっては、印字再開のためにコマンドを送る必要があります。

●カッターエラー

用紙詰まりなどでオートカッターが動かなくなった場合、LED / LCD が赤色に点灯します。原因を取り除き、第 1 キー (FEED) を押してください。それでもオートカッターが動かず、ペーパーカバーが開かない場合は、「4.3 カッターエラーの解除(2)」を参照してください。



4.3 カッターエラーの解除(2)参照

●印字ヘッドホット

濃い印字、黒い部分の多い印字、高温環境下での連続印字を続けると、印字ヘッドの温度が上がります。一定の温度を超えると、印字を停止し、印字ヘッドの温度が下がるのを待ちます。このとき、LED / LCD がオレンジ色に点灯します。温度が下がると自動的に印字を再開します。

各エラーの状態表示は、下記のとおりです。

LCD では、上段にエラーの種類、下段に対応内容が表示されます。16 桁を超えるメッセージはスクロールして表示されます。



状態	メッセージ	LED	バックライト	ブザー音※ 2
ペーパーニアエンド	「PAPER LOW」の表示	オレンジ色	—	—
ペーパーエンド	用紙切れ 用紙を入れて下さい	赤色	赤色	あり
フロントカバー オープン	フロントカバーオープン 前面のカバーを閉じて下さい	赤色	—	あり
ペーパーカバー オープン	ペーパーカバーオープン 用紙のカバーを閉じて下さい	赤色	—	あり
カッターエラー	カッターエラー カバーを開けて紙詰まりを除いて下さい	赤色	赤色	あり
	カッターエラー 用紙のカバーを閉じて下さい	赤色	赤色	あり
印字ヘッドホット	印字ヘッド高温 しばらくお待ち下さい	オレンジ色	—	—
メモリエラー	—	赤色	赤色	—
システムエラー	システムエラー プリンタの電源を切ってください	赤色	赤色	あり
低電圧エラー	低電圧エラー プリンタの電源を切ってください	赤色	赤色	—
高電圧エラー	高電圧エラー プリンタの電源を切ってください	赤色	赤色	—
ブラックマーク ラベル検出エラー	BM/ ラベル検出エラー 用紙確認 / センサー調整して下さい	赤色	赤色	あり
センサー調整エラー	センサー調整エラー 用紙を確認して下さい	赤色	赤色	あり
マクロ実行待ち※ 1	マクロ実行中	—	—	—

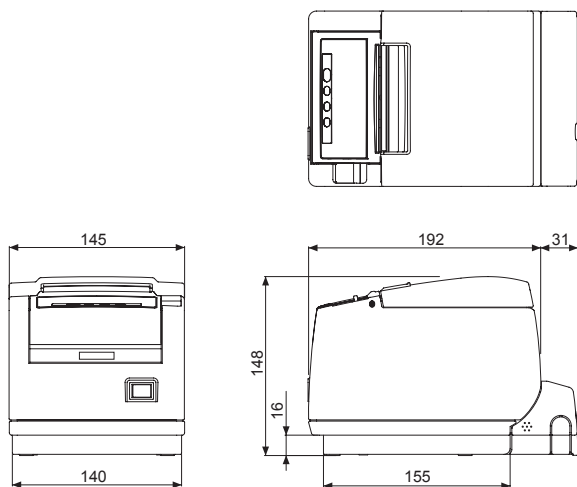
注) ※ 1：マクロ機能実行中にも LED が点灯することがあります。

※ 2：MSW5-1（ブザー設定）が有効時にブザー音が鳴ります。

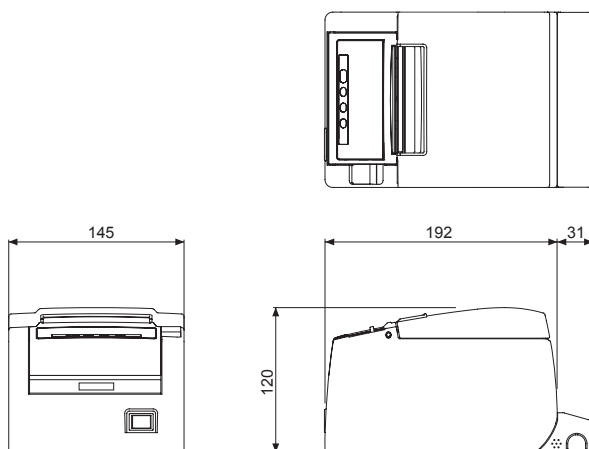
5. その他

5.1 外形および寸法

(単位:mm)



電源内蔵タイプ



AC アダプタータイプ

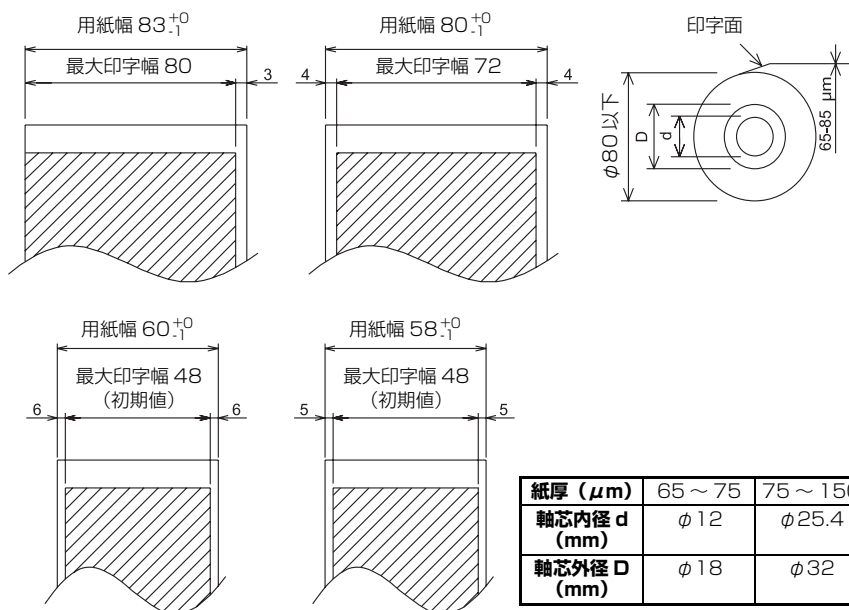
5.2 印字用紙

印字用紙は下記の表のもの、または相当品を使用してください。

用紙の種類	製品名
推奨感熱 ロール紙	日本製紙 TF50KS-E2D、TF50KS-E、TF60KS-E 王子製紙 PD150R、PD160R 三菱製紙 P220AG、HP220A、HP220AB-1、F230AA、P220AB、 P220AE-1 (厚紙)、PB670 (2色紙)
推奨感熱 ラベル紙	日本製紙 HD75 リコー 150HB

a) 感熱ロール紙

(単位:mm)

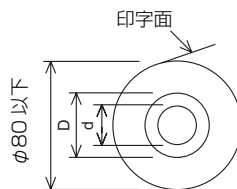
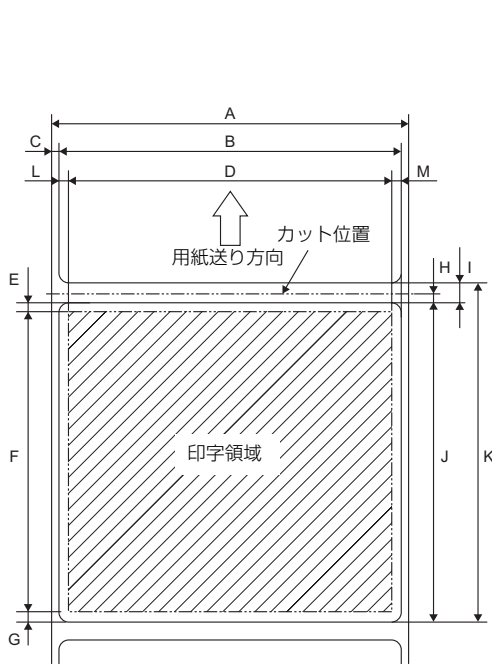


⚠ 注意

感熱ロール紙の巻き始めが、下記のものを使用してください。

- 折り目がなく、内径に沿っていること。
- 折り返しがないこと。
- 芯への糊付けがないこと。
- 外巻き（印字面が外側）になっていること。

b) ラベル紙



ロール紙の仕様

ラベル紙厚	65 ~ 85 μ m
台紙厚	60 μ m 以下
軸芯内径 d (mm)	25.4
軸芯外径 D (mm)	32

(単位: mm)

記号	項目	寸法
A	台紙幅	57.5、59.5、79.5、82.5 $\pm$ 0.5
B	ラベル幅	(A 寸法) - 4 $\pm$ 0.5
C	ラベル左端位置	2 $\pm$ 0.5
D	印字幅	(A 寸法) - 8
E	ラベル紙マージン上	2 $\pm$ 1
F	印字長さ	21 ~ 296
G	ラベル紙マージン下	2 $\pm$ 1
H	ラベル間カット位置	1/2 $\times$ (I 寸法)
I	ラベル間隔	4 ~ 30
J	ラベル長	25 ~ 300
K	ラベルピッチ	I+J
L	左マージン	2 $\pm$ 1
M	右マージン	2 $\pm$ 1

⚠ 注意

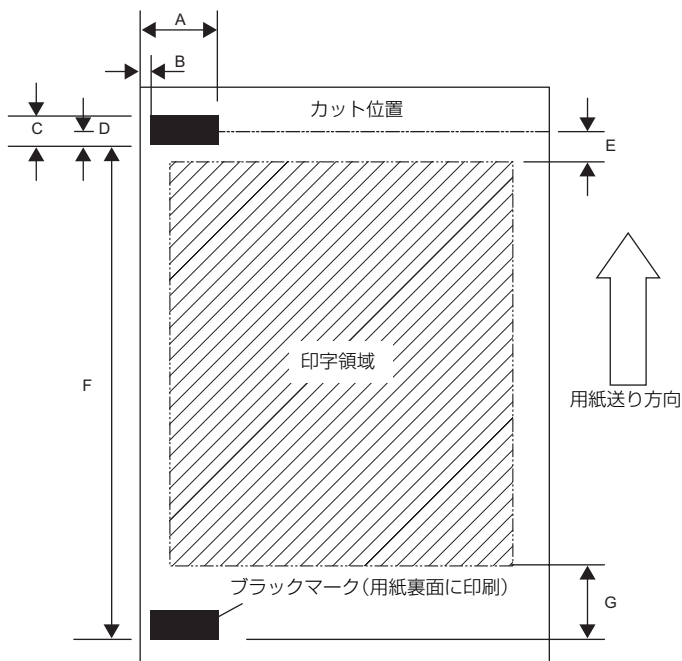
■オートカッターを使用する場合は、カッターロックやカッターの故障の原因になりますので、以下のことに注意してください。

- ・用紙のカット長さは 29mm 以上にしてください。
- ・カット位置は、ラベル間（台紙部分）をカットしてください。ラベル紙（タック紙）をカットしないでください。

■ラベルの台紙の種類を変更した場合は、必ず用紙センサーの調整を行ってください。

■用紙の左マージンと右マージンは、それぞれ 2mm 以上にしてください。

c) ブラックマーク紙



(単位 : mm)

記号	項目	寸法	
		M1	M2 ※
A	ブラックマークの右端位置	13.4 以上	79 以上
B	ブラックマークの左端位置	0.4 以下	67.7 以下
C	ブラックマーク高さ	5	
D	ブラックマークのカット位置	2.5	
E	用紙マージン上	6.5	
F	ブラックマークピッチ	30 ~ 300	
G	用紙マージン下	9	

注) ※ : 3 インチタイプのみ

⚠ 注意

- ブラックマークの PCS 値は 0.90 以上とします。
- ブラックマーク検出による印字頭出し精度は、基準印字位置に対し $\pm 2\text{mm}$ 、また印字長さについては、設定値に対して最大 -5% の誤差を考慮してください。
- ブラックマークを使用する場合は、上図の印字領域に従ってください。また十分なマージンをとってください。印字データが印字領域外になった場合には、プリンターがページスキップ動作します。
- ブラックマーク紙にプリプリントする場合は、ブラックマーク用センサーの検出領域外に印刷してください。

5.3 メモリスイッチのマニュアル設定

メモリスイッチには、プリンターの各種の設定項目が割り振られています。メモリスイッチはマニュアル(プリンターの手操作)またはコマンド設定で変更ができます。ここではマニュアルでの設定方法を説明します。

設定は、メモリスイッチ設定モードまたは仮想 DIP スイッチ設定モードで行います。メモリスイッチ設定モードは、MSW1 から MSW10 の設定値の変更ができます。仮想 DIP スイッチ設定モードは、MSW1 から MSW6 の設定値の変更ができます。コマンドでの設定については、別冊のコマンドリファレンスを参照してください。

設定の流れ

1. メモリスイッチ設定モードまたは仮想 DIP スイッチ設定モードに入る。
2. 必要な項目の設定を変更する。
3. 設定保存メニューに移動する。
4. 設定を保存する。

メモリスイッチ設定モード

「印刷ができます」と表示された状態で第 4 キー(MENU)を 2 秒以上押します。または用紙をセットした状態で第 3 キーを押しながら電源を ON にします。メモリスイッチ設定モードに入ります。



- ・ 第 1 キー (◀) または第 2 キー (▶) を押すと、設定項目を選択します。
- ・ 第 3 キー (▼) を押すと、選択項目の設定値を選択します。
- ・ 第 4 キー (■) を押すと、設定保存メニューに移動します。

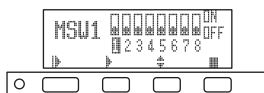
●すべてのメモリスイッチを工場出荷時の設定にする場合

第 1 キーを「工場出荷設定」と表示されるまで押します(MSW10-8 の次に表示されます)。

第 4 キーを 2 秒以上押します。すべてのメモリスイッチが工場出荷時の設定に変更されます。

仮想 DIP スイッチ設定モード

用紙をセットした状態で第 2 キーを押しながら電源を ON にします。
仮想 DIP スイッチ設定モードに入ります。



- ・ 第 1 キー (◀) を押すと、メモリスイッチ番号を選択します。(MSW1 → MSW2 → … → MSW6 → MSW1 のように移動します。)
- ・ 第 2 キー (▶) を押すと、スイッチを 1 から 8 の方向に移動します。(8 の次は 1 に移動します。)
- ・ 第 3 キー (✚) を押すと、ON と OFF を切り替えます。
- ・ 第 4 キー (■) を押すと、設定保存メニューに移動します。

設定保存メニュー



- ・ 第 1 キー (YES) を押すと、設定を保存して「印刷ができます」という表示に戻ります。
- ・ 第 2 キー (NO) を押すと、設定を保存しないで「印刷ができます」という表示に戻ります。
- ・ 第 3 キー (BACK) を押すと、元のモードに戻ります。

各メモリスイッチの機能は、下記の表のとおりです。(網掛け表示部は、工場出荷時設定です。)

スイッチ番号	機能	OFF	ON
MSW1-1	電源 ON 通知設定	有効	無効
MSW1-2	インプットバッファ	4K bytes	45 bytes
MSW1-3	Busy 条件	フル / オフライン	バッファフル
MSW1-4	受信エラー文字	“?” 文字	無効
MSW1-5	CR モード	無効	有効
MSW1-6	予約	固定	—
MSW1-7	DSR 信号選択	無効	有効
MSW1-8	INIT 信号選択	無効	有効
MSW2-1	予約	—	固定
MSW2-2	オートカッター動作	無効	有効
※ 1 MSW2-3	バッファリング	無効	有効
MSW2-4	フル桁印字	即改行	データ待ち
MSW2-5	カバークローズ 復帰	次行印字	先頭印字
MSW2-6	予約	固定	—
MSW2-7	予約	固定	—
MSW2-8	PNE センサー	有効	無効
MSW3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	L/F 無効
MSW3-2	PNE 時 PE 出力	有効	無効
MSW3-3	パラレル 31 ピン	リセット	無効
MSW3-4	予約	固定	—
MSW3-5	予約	固定	—
MSW3-6	予約	固定	—
MSW3-7	CBM1000 互換モード	無効	有効
MSW3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	復帰可能
MSW4-1	予約	固定	—
※ 2 ※ 3 MSW4-1	用紙長設定	自動測長	コマンド
MSW4-2	予約	固定	—
※ 2 ※ 3 MSW4-2	電源 ON 時の頭だし	無効	有効
MSW4-3	用紙頭出しカット	無効	有効
※ 2 ※ 3 MSW4-3	用紙頭だしカット	無効	有効
MSW4-4	用紙選択	感熱ロール紙	BM 紙 / ラベル紙
※ 2 ※ 3 MSW4-4	用紙選択	感熱ロール紙	BM 紙 / ラベル紙※ 4
MSW4-5	予約	固定	—
※ 2 MSW4-5	用紙位置検出	ブラックマーク検出	ラベル間検出
※ 3 MSW4-5	用紙位置検出	ブラックマーク検出	ラベル間検出
MSW4-6	予約	固定	—
※ 2 ※ 3 MSW4-6	カバー閉側長	無効	有効
MSW4-7	予約	固定	—
MSW4-8	強制パーシャル	無効	有効
MSW5-1	ブザー	有効	無効
MSW5-2	縦基本計算ピッチ	360	406
MSW5-3	USB モード	仮想 COM	プリンタクラス
MSW5-4	予約	固定	—
MSW5-5	未定義	固定	—
MSW5-6	予約	固定	—
MSW5-7	未定義	固定	—

スイッチ番号	機能	OFF	ON
MSW5-8	未定義	固定	—
MSW6-1	ドライバ用動作	無効	有効
MSW6-2	文字間スペース	無効	有効
MSW6-3	未定義	固定	—
MSW6-4	未定義	固定	—
MSW6-5	未定義	固定	—
MSW6-6	未定義	固定	—
MSW6-7	未定義	固定	—
MSW6-8	未定義	固定	—

スイッチ番号	機能	初期値	設定値
* 5 MSW7-1	シリアル ボーレート	9600 bps	1200 bps, 2400 bps, 4800 bps, 9600 bps, 19200 bps, 38400 bps, 57600 bps, 115200 bps
* 5 MSW7-2	シリアル データ長	8bits	7bits, 8bits
* 5 MSW7-3	シリアル ストップビット	1bit	1bit, 2bit
* 5 MSW7-4	シリアル パリティ	無効	無効、偶数、奇数
* 5 MSW7-5	シリアル プロトコル	DTR/DSR	DTR/DSR, XON/XOFF
* 5 MSW7-6	DMA 制御	有効	有効、無効
* 5 MSW7-7	VCom フロー制御	PC 設定	PC 設定、DTR/DSR, XON/XOFF
MSW8-1	印字領域幅	576dots (3 インチタイプ) 384dots (2 インチタイプ)	640dots, 576dots, 512dots, 436dots, 432dots, 420dots, 384dots, 360dots, 390dots, 546dots
MSW8-2	用紙種別	単色紙	単色紙、2 色紙
* 6 MSW8-3	トップマージン	11mm	3mm, 4mm, 5mm, 6mm, 7mm, 8mm, 9mm, 10mm, 11mm
* 6 MSW8-4	行間圧縮	無効	無効、3/4、2/3、1/2、1/3、1/4、1/5、ALL
* 7 MSW8-7	ライナーレスモード	無効	無効、1h、6h、12h、18h、24h、5m、10m、15m、20m、30m
MSW9-1	コードページ	Katakana	PC 437, Katakana, PC 850, 858, PC 860, PC 863, PC 865, PC 852, PC 866, PC 857, WPC1252, Space page, PC 864, タイコード 18
MSW9-2	国際文字	日本	アメリカ、フランス、ドイツ、イギリス、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン、日本、ノルウェー、デンマーク 2、スペイン 2、ラテンアメリカ、韓国、クロアチア、中国
MSW9-3	漢字	有効	有効、無効
MSW9-4	JIS/ シフト JIS	JIS	JIS、シフト JIS
MSW9-6	LCD 言語	日本語	English, Français, Deutsch, Italiano, Español, 日本語
MSW9-7	LCD 外字	有効	無効、有効
MSW9-8	LCD 自動オフ	なし	なし、30 秒後、5 分後
MSW10-1	印字濃度	100 %	70 %, 75 %, 80 %, 85 %, 90 %, 95 %, 100 %, 105 %, 110 %, 115 %, 120 %, 125 %, 130 %, 135 %, 140 %
MSW10-2	印字速度	レベル 9	レベル 1、レベル 2、レベル 3、レベル 4、レベル 5、レベル 6、レベル 7、レベル 8、レベル 9
MSW10-3	ACK 出力タイミング	BUSY 前	BUSY 前、BUSY 同期、BUSY 後
* 8 MSW10-4	エミュレーション	ESC/POS	ESC/POS, CBM1, CBM2
MSW10-5	予約		
MSW10-6	ブザー音	トーン 2	トーン 1、トーン 2、トーン 3、トーン 4
MSW10-7	キーロック	無効	無効、有効
MSW10-8	LCD 表示方向	正立	正立、倒立

- 注) ※ 1 : 印字比率の高いデータ、ヘッドホット、データ転送速度が遅い等の条件の場合、印字途中でモーターが時々停止する間欠印字が起き、印字結果に白スジが出ることがあります。印字比率の高いデータでは、メモリスイッチ設定 MSW2-3 (バッファリング) を有効にすると印字開始までの時間が多めにかかりますが、白スジは改善されます。
シリアルインターフェースの場合は通信速度を上げて、モーター停止が起きないようにしてください。
- ※ 2 : ラベル仕様
 - ※ 3 : ブラックマーク仕様
 - ※ 4 : ブラックマーク紙の場合は、MSW4-8 は使用できません。
ラベル紙の場合は、MSW2-8 と MSW4-8 は使用できません。
 - ※ 5 : MSW7-X の設定は、DIP スイッチ No.1 が OFF の場合のみ有効です。
 - ※ 6 : ファームウェアバージョン Dxxx-2500 以降で有効です。
 - ※ 7 : ファームウェアバージョン Dxxx-2300 以降で有効です。
 - ※ 8 : ファームウェアバージョン Dxxx-2200 以降で有効です。

シチズン・システムズ株式会社

〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12

TEL. (042) 468-4993 FAX. (042) 468-4687

<http://www.citizen-systems.co.jp>

TZ74901-10F

A35240J-1804

April 2018